

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和4年4月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800244
法人名	特定非営利活動法人NPOみなまた
事業所名	グループホーム 三郎の家
所在地	鹿児島県出水市住吉町6番18号 (電話) 0996-65-7740
自己評価作成日	令和4年3月3日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和4年3月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本事業所は国道3号線から名護港方面に向かう途中の、海の入江に面した場所にあるグループホームです。土地の提供者の三郎さんへの信頼と感謝の意を込めて「三郎の家」とつけられました。

利用者様の日常生活の面では出来る限り残存能力を活かし、安心・安全はもちろん、少しでも笑顔で過ごせるよう支援に努めています。また、利用者様と職員同士でもお互いに「ありがとう」と言い合える、良い関係性づくりも大切にしています。

職員に関しては無資格・未経験であっても働きやすい環境づくりを心掛けています。有資格者に関しては資格を取った事に満足せず、これからどうケアに活かすかを考える事が大切だと感じています。

近年は新型コロナウイルスの影響でご家族も面会に制限が出来、利用者様も外部との交流がほとんど出来ず満足が出来なかったかもしれません。今後の目標としてはコロナ渦であっても利用者様やご家族が安心・満足出来るようなサービスを提供できるよう、職員全員で頑張っていきたいです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、海の入江に面しており、リビングから海が眺められ、利用者は施設の中において、十分に開放感がある。
- ・コロナ感染症拡大により、家族との面会や外出も自粛する中で、利用者が楽しく過ごせる機会をどう作っていくか。常に職員間で考え工夫をしている。
- ・利用者の一人ひとりの意向や要望を傾聴する事を大切にしている。
- ・医療面について主治医との医療の連携体制が十分取れている。安心した生活ができ、看護師も数名いる。
- ・職員間のコミュニケーションが良く、お互いに協力体制ができており、職員の資格取得についても今後支援体制を作っていくことに努力している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	法人の理念である「人権・安心・共生」をもとにした理念を三郎の家で作成。入職時に説明し、毎朝申し送り時には出勤者全員で理念の唱和を行っている。	理念は、事務室や玄関口に掲示して、朝の申し送り時に全員で唱和している。入職時に理念について研修を行っている。自己評価の時、理念を振り返り共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会へ参加し当番の月には配り物やリサイクルの収集には参加させてもらっているが、コロナの影響で祭りの中止やサロンへの参加は去年から行っていない。交流が難しい状況。	自治会に加入している。市報が配布されるので、地域の情報は市報の中から把握している。リサイクルの収集が2ヶ月毎に実施されるので参加している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	コロナ対策として昨年からの地域の方との交流がほとんどないので、地域貢献はほとんど出来ない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ対策として昨年に続き、会議は行わず記録の提出のみ行っているため、以前のように意見はもらえていない。	コロナ禍のため、会議は自粛し2ヶ月毎に文書を作成し、利用者の状況・サービス内容・外部評価結果報告等を作成し、各委員や関係者へ持参している。意見等がある時は電話で聞き取って運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	以前は運営推進会議の場で直接意見を聞いていたが、コロナ対策でそれは出来ていない。分からない事があればその都度役所等に電話で質問をし、連携をとっている。	介護保険の書類を提出する時は出向いているが、相談や質問はほとんど電話で行っている。生活保護関係の連携も密に取っている。行政主催の研修会やグループホーム連絡協議会に参加して、協力関係を築いている。介護保険の訪問調査は受け入れている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	利用者様の活動時間内は施錠を行っていない。年に2回の法人研修に加え新人職員にも入職時に研修を行い、身体拘束をしないケアを目標としている。	年2回の法人全体の研修を実施している。施設では、毎月のミーティングで出された、ヒヤリハット等について話し合いをしている。昼間は玄関の施錠はしていない。外出希望者は、職員が同行して、散歩を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	全職員で研修を受けている。虐待行為と分かりづらい事もあるので、職員間でも十分話し合い虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	法人主催で毎年研修を行っている。成年後見制度を利用している方もいるので、分からない事があれば後見人の方に相談している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に説明を行い、利用者様本人とその家族が不安に思っていることを出来るだけ細かく聞けるよう努力している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様からは言動を見て、気持ち理解できるよう努力している。ご家族からは気になる等があれば電話やメールをいただき、事業所の運営に反映させている。</p>	<p>利用者からは、その日の関わりの中で思いを聞いている。家族からは窓越し面会や電話・メール・ラインで意見を聞いている。意見は運営に活かしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングでも職員には意見が無いかを聞いている。また年に1回は職員集会を開き事業所全体の意見も取り入れている。</p>	<p>毎月のミーティングで職員から意見を聞いている。年1回職員全体の会議を行い、全職員の意見も把握できている。個々にも随時思いを聞いている。改善例として、風呂場の改修要望や資格取得に支援の要望があり、職員の意見や提案を検討している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>毎年少しずつ処遇面は良くなってきている。職場環境では長く楽しく働けるよう、職員間でフォローしながら業務に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各職員の課題は把握しているが、コロナ対策として外部の研修には参加出来ていない。リモートでの研修案内もあったが、職員不足が主な原因で参加出来ていない。法人内の研修だけは参加している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>コロナ対策で交流会などは中止、もしくは不参加の状況が続いている。コロナが落ち着くまではリモートを活用したいが今後の課題と考えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご家族や入院先からの情報とは異なる事が多々見られた。情報だけにとらわれず、本人様の言動や特徴をよく観察し少しでも安心できるよう関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居間もないが面会制限もあり、なかなかご家族も会えない状況が続いている。落ち着くまでは近況報告をこまめにメールで行い、信頼関係を得られるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居待ちの方でも自施設の状況を説明し、在宅の方には本人様とご家族にも話を聞き、どのようなサービスを提供した方がいかに慎重に考えて対応している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事を出来る方にやってもらい、お互いを思いやれる環境づくりに努めている。ありがたい言葉は特に大切だと考えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	遠方の方はリモートで面会をされたり、メールでも近況報告を兼ねてご家族ともやり取りをしているが、お忙しい方もいるので負担をかけ過ぎ無いように配慮している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ対策で面会制限中・外出も控えているので、馴染みの方との交流がなかなか出来ていない。制限などが緩和したら以前のような関係性を継続できるよう支援したい。	コロナ感染症拡大により家族との窓越し面会やリモート・電話で話している。外出は自粛している。花見や買い物・医療機関への診察等でドライブを兼ねて出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人に対して苦手意識がある方もいるが関係性は把握しており、職員が介入する事で関係性を保てられるよう支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	コロナの影響でお会いする機会がほとんどなくなった。数名、年賀状のやり取りだけは行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の言動をもとにその方の気持ちを考えている。言葉を発せない方は、ご家族の話や意見を参考にして希望に添えられるよう努めている。	日常生活の中で、特に入浴時等に話を聞いている。言葉で言えない利用者には、職員の方から声掛けをして、意向を聞いている。家族からも機会あるごとに思いを聞いて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご自宅等に見学に行った際、ご家族や施設・病院の方から細かく情報を得られるようにしている。時には本人様からも話が聞ける事もあるので、入居後も話を聞いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	何気ない言動から多くの気づきが生まれる事が多い。少しの変化でも細かく記録に残し、職員間で情報共有しながら現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族、これまで関わってきた方からの情報をもとに、現状は職員間で意見を出し合いその方に合った介護計画を提供出来るよう心掛けている。	本人・家族・関わってきた関係者と話し合い、担当者会議で、主治医の意見を入れて、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月で行い、見直しは更新の時、状況が変化した時は、その都度見直しして、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の記録には細かい記載が出来ていても情報が共有出来ない事があった。より良いケアに活かせるよう情報共有は特に出来るよう気を付けたい。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療ニーズが高くなるリスクがあるご家族とは今後他施設の利用も考えた話をする事もあった。本人様を優先とした話し合いをご家族と取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	以前は地域のサロンに参加したりしていたが、コロナの影響で利用者様が地域の方と触れ合う機会がなくなっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様やご家族が希望する医療機関を受診しているが、本人様と話し合いながら別の医療機関への乗り換えも検討する事があった。内科と精神科の2か所受診から、本人様の希望もあって1つの医療機関だけにすることもあった。	かかりつけ医は本人・家族の希望する医療機関である。入所前からの主治医が往診に来ている場合もある。眼科・皮膚科・歯科・精神科へは職員が同行して結果は家族へ報告している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週のほとんどのに看護師が勤務する時間帯がある。気付いた事があればその都度相談し、必要であれば医療機関の受診へとつなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時の説明などには職員も同席し、情報交換やご家族の不安も軽減できるよう努めている。かかりつけ医とは普段から相談も行っており、良い関係づくりが出来ていると思っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約の際に終末期の在り方の意向をご家族にも確認している。特に事業所ではどこまで看れるかという話をきちんと理解してもらうよう努めている。</p>	<p>契約時に説明をして同意書をもっている。段階的に重症化した場合はその都度、主治医は家族へ説明をして方向性を検討し、家族の意向を確認して支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>法人研修で心肺蘇生法を取り入れていたが、昨年はコロナの影響で実技の訓練は出来なかった。現在はマニュアルに沿って事故や急変時に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災や地震に対する訓練は行っているが水害時の訓練は出来ていない。議員の方には一般の方とは別に施設の方専用の避難場所があればという要望を伝えたので今後さらに話を進めていきたい。</p>	<p>年2回、火災・地震について昼夜を想定して避難訓練を実施している。昨年より消防署の立ち合いは自粛している。自主で2回実施している。スプリンクラーや火災報知機も完備している。避難経路、避難場所の確認、自治会長の参加もあり、住民との協力体制もできている。備蓄は、水・米・レトルト食品・缶詰等がある。約1ヶ月分位備蓄している。懐中電灯等もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	その方の特徴を理解した言葉を選ぶ事が大切だと考えている。方言が好ましくないという考えがある一方、方言同士の会話の方が落ち着いているように見える場面も見られるので言葉選びは慎重に行っている。	特別に勉強会はしていないが、基本的な考え方については、日頃から職員間で確認している。名前はさん付けで、入室時のノックやトイレへの誘導時にさりげなく小さな声で声かけをする等、羞恥心に配慮している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	些細な事でもその方が分かる言葉で、出来るだけ開かれた質問を意識し、自己決定が出来るような場面を増やせるよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	おおよその1日の流れはあるが、一人ひとりのペースを大切に、なるべくその方の希望に沿えるよう努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	出来る方には鏡を見ながら本人様にお任せしている。不十分なところは職員でさりげなくお手伝いをしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る方には茶碗拭きやお茶を注いでもらっている。また個人に合わせた食事形態を提供している。	嗜好調査を実施して、食事が楽しくなるように工夫している。誕生会には、ちらし寿司とケーキ等を手作りしている。正月はおせち弁当を提供している。食材の皮むき・台ふき・茶碗拭き等、できるところを一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全員の食事・水分摂取量を記録し、状況に応じて調整している。また嚥下の状態等に応じた食事形態と介助の方法で支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員が出来る限り食後に行っている。人によっては口腔ケアガーゼも使用し口腔内の清潔に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの排泄パターンを把握し、布パンツ、リハビリパンツ、紙おむつと使い分けたり、時間を見てトイレ誘導も行っている。	一人ひとりの排泄パターンを把握して、時間ごとのトイレ誘導をしている。日中はトイレにての排泄を基本としている。個々に合った排泄用品の選択を職員で話し合っている。ポータブルトイレは夜間のみ使用している場合もある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便の性状をチェックし、食事・水分量は少なくないか？適度に運動は行っているか？状況に応じて主治医にも相談し内服薬の調整も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	おおよその日程は施設側で決めているが、その日の気分や体調によって時間や日にちを調整したり、ベッド上での清拭・洗髪の実施という対応をとっている。	週2回の入浴を基本としている。清拭・洗髪・足湯にも対応している。同性介助も希望に応じている。入浴を拒否する場合は、声掛けする時間を変更したり、介助者を変えたりして対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その方が希望する過ごし方を尊重しているが、夜間の睡眠に影響が出ないように適度に活動性を上げるようにも支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬品カードをまとめ、いつでも確認できる。処方の変更があった場合、症状に合わせてDrへ報告、再調整してもらっているが主治医との関係性がとても大切だと感じている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの特徴を把握し、出来る事をお願いしている。当たり前のようにして下さる方もいるが、ありがとうございますと伝える事を忘れないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ対策として場所によっては外出を控えてもらっている。密になる所へは行けないが、感染のリスクがないドライブや散歩などは行けるよう支援している。	その日の気分や体調で、施設周辺の散歩や外気浴をしている。コロナ禍で外出はできるだけ控えている。近い所へ花見ドライブに出かけたり、職員の買い物の時に、同行して車の中から外の様子を眺めたりしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一名現金の所持をされているが、コロナ対策として買い物は職員で行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	面会制限中だがご家族によってはリモートや電話でのやり取りを行っている。話がかみ合わなくなった人もいたのでその際は職員も立ち会っている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設内には季節に合わせて飾り物を設置している。音や光などに過敏な方もいるので、音の大きさや光量にも気を付けて居心地の良い空間づくりに努めている。	共用空間は音・採光・テレビの音・室温・換気に配慮している。室内は季節感のあるはり絵や利用者の作品を飾っている。利用者はソファでゆっくりとくつろいでいる。季節の花も飾られ居心地よく過ごせるように工夫している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとり好きな場所で過ごしてもらっている。人によっては定位置もあるのでトラブルにならないよう、すぐに職員が介入できるように努めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人様の馴染みのある物やご家族の希望するものがあれば居室に置いているが、心身の状況に合わせて物品の調整も行っている。</p>	<p>居室はベッドやエアコン・タンスが設置してある。テレビや時計・寝具類は持ち込み、家族の写真・仏壇・椅子・テーブル等、入所前にいた部屋とかわりなく過ごせる様に工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>残存能力が保持できるよう場所を分かりやすく表記したり、物品に関しては使いやすく安全な物を提供し、自立し安全な生活が送れるよう努めている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない